

**日本光学会平成 20 年度第 1 回常任幹事会議事録**

日 時： 2008 年 7 月 1 日(火) 13:30~16:00

場 所： 応用物理学学会会議室

参加者： 谷田貝幹事長，他 17 名

議 事：

1. 日本光学会平成 20 年度第 184 回幹事会議事録の確認
  - ・第 184 回幹事会議事録は承認された。
2. 報告事項
  - 2-1. 「OPTICAL REVIEW」関連報告
    - (1) 「OPTICAL REVIEW」編集報告
      - ・2008 年 1 月～5 月までの掲載および投稿論文状況は、例年通りであることが報告された。
    - (2) 「OPTICAL REVIEW」出版報告
      - ・OR へのアクセス数は順調に増加していることが報告された。
      - ・OR の英語および日本語パンフレットを作成するための予算の確保が提案された。審議され承認された。
      - ・日本の光学研究状況や日本光学会の活動を海外に発信するために、「光学」の記事を英訳し OR にて公開することが提案された。今後検討していくこととなった。
  - 2-2. 講演会関連報告
    - (1) 第 33 回光学シンポジウム進捗報告
      - ・順調に準備が進んでいることが報告された。
      - ・参加費は昨年と据置きであるが、予稿集に CD-ROM を付加したことが報告された。
    - (2) カラーフォーラム JAPAN 2008 進捗報告
      - ・5 件の招待講演を予定しており、4 件の講演者から承諾を得ていることが報告された。
    - (3) 第 35 回冬期講習会進捗報告
      - ・開催日を 2009 年 1 月 22 日～23 日、会場を東京大学(本郷)に予定していることが報告された。
      - ・講演内容として、光学設計法を予定していることが報告された。
    - (4) Optics & Photonics Japan 2008 進捗報告
      - ・運営業務の委託先である(株)アドスリー、および、展示会関連業務の委託先であるアドコム・メディア(株)との契約が完了したことが報告された。
      - ・OPJ 国際セッションにおける支出金は国際協力支援事業の一環として、例年と同等の扱いを行うことが承認された。
      - ・国際協力支援金の存在を一般会員に周知する必要性があ

ることが指摘された。今後、周知方法を検討することになった。

(5) OPJ 2009 開催日および開催場所について

- ・開催日を 2009 年 11 月 24 日～26 日、会場を朱鷺メッセ(新潟)として仮決定し、準備を進めることが提案された。審議され承認された。

2-3. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・4 件の協賛依頼が承諾されたことが報告された。

(2) 会員動向について

- ・5 月に個人会員が 7 名増加、特別会員が 5 名増加し、5 月末において会員数が 1,893 名であることが報告された。

(3) 光学論文選考委員報告

- ・選考委員候補 10 名が報告され、了承された。

(4) 会員制度委員会報告

- ・日本光学会の元幹事で構成するアドバイザーグループの構成案を、次回以降の幹事会で検討することになった。

(5) 収支計算書について

- ・2008 年 1 月 1 日～5 月 31 日までの収支が示され、おおむね昨年度と同様に推移しているが、別刷収入と業務委託費支出に若干の変動があることが報告された。

(6) 奨励賞審査結果報告

- ・選考委員会により 3 名の光学奨励賞候補者が選考されたことが報告され、幹事会により承認された。

(7) 光学会ホームページについて

- ・ホームページのアクセス数が若干の増加傾向にあることが報告された。

- ・6 月中旬より 2 件のバナー広告を開始したことが報告された。

(8) 産学官連携委員会より

- ・応用物理学学会理事会にて審議予定である光みらい奨励金(後援：コニカミノルタ画像科学振興財団)の内規案と募集要項案が報告された。

(9) 講演会などの支払い方法について

- ・日本光学会主催の講演会などにおいて、参加費と懇親会費を別立てにしたいとの要望があることが報告された。次回以降検討することになった。

3. 審議事項

(1) 特別会員会費について

- ・特別会員会費の分割支払いへの要望が大学関係から多いことを受け、応用物理学会での運用と同じである4分割支払いを認めることが提案された。審議され承認された。

### 第185回幹事会

2008年9月16日(火)に応用物理学会会議室において開催されました。「光学」編集報告、「OR」編集報告および出版報告、光学シンポジウム結果および収支報告、電気関係学会北陸支部連合大会結果報告、カラーフォーラム JAPAN 2008 進捗報告、Optics & Photonics Japan 2008 進捗報告、冬期講習会進捗報告、名古屋講演会進捗報告、北陸信越講演会進捗報告、北海道地区学術講演会進捗報告、光学5学会関西支部連合講演会進捗報告、関西講演会進捗報告、光応用新産業創出フォーラム進捗報告がなされました。また、協賛依頼、会員動静、収支計算書、奨励賞および光学論文賞関連報告、国際協力支援金、OPJにおける招待講演者への旅費支出、産学官連携委員会報告、光学会HP、会員増計画についての報告がありました。さらに、光学シンポジウム企画案、平成21年度予算案、次期幹事案(幹事会推薦候補)、日本学術会議ICO分科会のHP協力、来年度サマーセミナー開催方針案、OSAとの協定、OSKとの協定書の更新、関西地区幹事増員、日本光学会運営改善のワーキンググループ発足の提案について審議がなされました。なお、詳しい議事録は第38巻第1号に掲載予定です。

### 第241回「光学」編集委員会

2008年9月12日(金)に応用物理学会会議室において開催されました。第38巻第6,7号の企画決定、第38巻第8,9号の第二次構想案、第38巻第10号の第一次構想案の審議、第38巻第11,12号および39巻第1,4号の号担当の決定が行われました。その後、報告および審議事項を経て、展望号の分野についての報告、編集委員の退任についての報告、論文投稿・審査状況についての報告、各号の進捗状況の報告、会計の報告、幹事会の報告がなされました。

### 日本光学会光設計研究グループ第11回光設計賞

日本光学会光設計研究グループ企画の「第11回光設計賞」は、審査の結果下記の通り受賞者を決定しました。審査は書類による1次審査(将来性、実用性、独創性に関して採点)の後、8名の審査委員に集まっていたいただき、1次審査の結果および各委員のコメントを考慮しつつ話し合いにより受賞者を決定しました。応募件数は7件でした。

受賞者:

- 光設計大賞 該当者なし
- 光設計優秀賞  
「ガラスモールド法によるレンズへの反射防止構造体形成技術」  
山田和宏氏・梅谷 誠氏・田村隆正氏・田中康弘氏(パナソニック)  
笠 晴也氏・西井準治氏(産業技術総合研究所)
- 光設計奨励賞  
「携帯電話用超小型ズーム光学系の開発」  
松阪慶二氏・吉田龍一氏・湯浅智行氏・大澤 聡氏(コニカミノルタオプト)  
「マルチパス構成による高効率緑色波長変換レーザ」  
水島哲郎氏(パナソニック)

表彰: 11月4日~6日につくば国際会議場にて開催されたOptics & Photonics Japan 2008にて、授賞式・受賞記念講演が行われました。

### 平成20年度日本光学会北陸信越講演会「光と情報のシナジー 計測・表示・記録」

日時: 2008年11月21日(金) 13:00~16:35  
場所: 長岡技術科学大学・電気1号棟6階会議室(長岡市上富岡町1603-1)  
主催: 日本光学会  
後援: シナジエテックデバイス研究会  
プログラム: 「開会の挨拶」赤羽正志(長岡技術科学大), 「LCDの応用事例について」小林和也(日本精機), 「光周波数コムを利用した高分解スペクトル計測と応用」塩田達俊(長岡技術科学大), 「LCDの液晶配向: ラビング配向 VS 配向印刷法」木村宗弘(長岡技術科学大), 「有機ELディスプレイの現状と今後の課題」松本栄一(トッキ), 「光波分子配向制御技術を用いたベクトルホログラフィック回折格子」小野浩司(長岡技術科学大), 「閉会の挨拶」小野浩司(長岡技術科学大)  
問合せ先: 小野浩司 長岡技術科学大学・電気系  
電話 0258-47-9528 Fax 0258-47-9500  
E-mail: onoh@nagaokaut.ac.jp

### カラーフォーラム JAPAN 2008

日時: 2008年11月25日(火)~27日(木)  
場所: 工学院大学(東京都新宿区)  
主催: 光学四学会幹事会(日本光学会ほか)  
問合せ先: カラーフォーラム JAPAN 事務局

電話 03-3398-0708, 090-3913-0384

Fax 03-3398-0708

E-mail: ren-net@vega.ocn.ne.jp

URL: [http://www.ren-associates.com/ColorForumJ/home\\_jp.html](http://www.ren-associates.com/ColorForumJ/home_jp.html)

詳細は第 37 巻第 10 号をご覧ください。

### 第 35 回冬期講習会「光学設計概論—基礎からの光学設計—」

期 日：2009 年 1 月 22 日(木)～1 月 23 日(金)

場 所：東京大学本郷キャンパス山上会館大会議室

主 催：日本光学会

問合せ先：西畑純弘

富士フイルム(株)R&D 統括本部光学デバイス研究所

電話 048-662-7173 Fax 048-662-7198

E-mail: [sumihiro-nishihata@fujifilm.co.jp](mailto:sumihiro-nishihata@fujifilm.co.jp)

詳細は本号巻頭の綴じ込み案内をご覧ください。

### 第 110 回微小光学研究会「広がりを見せるレーザー技術」

日 時：2008 年 12 月 5 日(金) 10:00～17:00

場 所：東京工業大学デジタル多目的ホール大岡山キャンパス西 9 号館(東急大井町線・目黒線大岡山駅下車徒歩 1 分)

主 催：日本光学会微小光学研究グループ

プログラム：①特別講演「面発光レーザーの最近の進展」小山二三夫(東工大)，②「波長変換を用いた新波長レーザー光源」遊部雅生(NTT)，③「ブルーレイ用青紫色レーザー」國里竜也(三洋電機)，④特別講演「フォトニック結晶レーザー」野田進(京都大)，⑤「セラミックレーザー」平等拓範(分子研)，⑥「量子カスケードレーザー」秋草直大・枝村忠孝・菅博文(浜松ホトニクス)，⑦「電子制御波長可変レーザー」和田智之・斉藤徳人(理研)，⑧「小型光送受信モジュール」村上泰典(住友電工)，⑨「高出力可視・紫外レーザーとレーザー加工」向原克治・中村強・波多泰成(オムロンレーザーフロント) ※プログラムは微小光学研究グループのホームページ(<http://www.comemoc.com/>)でご確認ください。

参加費：一般 4,000 円，学生 1,000 円(資料代含む。当日ご持参ください)

参加申込：不要(直接会場にお越しください)

問合せ先：NTT フォトニクス研究所 渡辺俊夫

電話 046-240-3183 Fax 046-240-4528

E-mail: [wata104@aecl.ntt.co.jp](mailto:wata104@aecl.ntt.co.jp)

### 光設計研究グループ第 40 回研究会「半導体露光の動向と展望(液浸, 超解像, EUV の現状と将来)」

半導体露光業界では、さらなる集積化を目指して、次世代技術の開発が本格化しています。技術動向の流れに取り残されず適切な開発・研究を行うためには、学会の最新情報の把握が欠かせません。現状動き出している ArF 液浸、進化する収差低減技術や超解像、将来に期待がかかる EUV 露光など、目を離せない技術が山積しています。今回の研究会では、各分野の第一線で研究開発を行っている先生方、特に関連学会で今年発表された論文の著者の方々を中心に講演者を集め、各露光技術の現状把握と将来展望についてご紹介いただきたいと思います。露光技術全体の現状、課題、将来動向について幅広い議論が行える場になればと思っています。講演後、懇親会を開催し、講演者の方々や参加者の皆様が打ち解けた雰囲気の中で、技術交流ができる場も用意しています。多数のご参加をお待ちいたします。

日 時：2008 年 12 月 11 日(木) 10:30～17:00

場 所：電気通信大学総合研究棟マルチメディアホール(東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1)

主 催：日本光学会光設計研究グループ(ODG)

参加費：ODG 会員 4,000 円，ODG 学生会員無料，一般 10,000 円，学生一般 2,000 円(当日受付にてお支払いください)

定 員：80 名(定員になり次第締め切ります)

参加申込：以下の内容を申込先にお送りください。(1) 氏名(フリガナ)，(2) 所属，(3) 連絡先(住所，電話，Fax，E-mail アドレス)，(4) 参加区分(1. 光設計研究グループ会員，2. 学生会員，3. 一般，4. 学生一般)，(5) 懇親会参加の有無。

申込先：足立要人

〒192-8512 東京都八王子市久保山町 2-3 オリパス(株)研究開発センター光学技術部技術 1 グループ

電話 042-691-7176 Fax 042-691-7573

E-mail: [S40reg@opticsdesign.gr.jp](mailto:S40reg@opticsdesign.gr.jp)

問合せ先：森島英樹

〒321-3298 宇都宮市清原工業団地 23-10

キヤノン(株)オプティクス技術開発センターオプティクス 21 開発室

電話 028-667-5711 Fax 028-667-9602

E-mail: [S40@opticsdesign.gr.jp](mailto:S40@opticsdesign.gr.jp)

URL: <http://www.opticsdesign.gr.jp/>

プログラムおよび開催場所は光設計研究グループおよび電気通信大学のホームページにてご確認ください。

### 第3回赤外ラマン分光部会シンポジウム「振動分光イメージング」

赤外・ラマン分光は、物理学、化学、医学生物学、薬学、工業応用など広い分野で利用されています。本シンポジウムでは、最近急速に進展してきた赤外・ラマン分光のイメージング技術とその応用について、第一線で活躍されている講師の皆様にご講演いただき、今後の展開について議論したいと思います。

期 日：2008年12月10日(水)

場 所：東京大学理学部化学館5階講堂(東京都文京区本郷7-3-1, [http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_06\\_07\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_06_07_j.html))

主 催：日本分光学会赤外ラマン分光部会

協 賛：日本光学会ほか

参加費：会員2,000円、非会員3,000円、学生1,000円

問合せ先：橋本 守

〒560-0043 豊中市待兼山町1-3 大阪大学大学院基礎工学研究科

電話 06-6850-6216 Fax 06-6850-6213

E-mail: mamoru@me.es.osaka-u.ac.jp

詳細はホームページ <http://www.bunkou.or.jp/> でご確認ください。

### 第8回東北大学多元物質化学研究所研究発表会

テーマ：物質材料分野における研究交流および情報交換

期 日：2008年12月11日(木)

場 所：東北大学片平さくらホール(仙台市青葉区片平2-1-1)

主 催：東北大学多元物質化学研究所

協 賛：日本光学会

参加費：無料(懇親会参加の場合、一般3,000円、学生1,000円)

問合せ先：東北大学多元物質化学研究所

電話 022-217-5617 Fax 022-217-5616

E-mail: yamauchi@tagen.tohoku.ac.jp

URL: <http://www.tagen.tohoku.ac.jp/general/event/meeting/2008>

### 「光学薄膜技術」講座

日 時：2008年12月9日(火)、10日(水) (計2日間)  
9:00~17:30

37巻11号(2008)

場 所：機械振興会館別館4階研修室(東京都港区芝公園3-5-22)

講 師：秋山貴之(ニコン)、生水利明(元 オリンパス)、白井 巖(コニカミノルタオプト)、松本繁治(シンクロン)、姜 友松(シンクロン)

主 催：(社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会、(社)精密工学会(順不同)

参加費：1名につき、一般87,150円、正会員56,700円、賛助会員69,300円、協賛77,700円(テキスト・消費税を含む)。

定 員：30名

申込期限：2008年12月2日(火)

問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp

URL: <http://www.joem.or.jp>

### 「基礎からよく分かる『光機能デバイス』入門」技術講座

空間光学と導波光学の両分野にわたる基本的な光デバイスを、できる限り基本にさかのぼって理解できるように努めます。本講座を通して、例えば時間周波数と空間周波数の概念、あるいは回折格子の分散とファイバーの分散は、共通の考え方で理解できることがわかるでしょう。偏光素子、干渉計、レンズ、導波路などの基本デバイスを用いて光波をどのように制御できるのかを、理解していきたいと思えます。

日 時：2008年12月11日(木)、12日(金) 10:00~17:00

場 所：機械振興会館別館4階研修室(東京都港区芝公園3-5-22)

講 師：黒川隆志(東京農工大)

主 催：(社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会

参加費：1名につき、一般68,250円、正会員45,150円、賛助会員54,600円、協賛60,900円(テキスト・消費税を含む)。

定 員：30名

申込期限：2008年12月4日(木)

問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp

URL: <http://www.joem.or.jp>

673 (53)

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16 (4号館 420号室)

東京農工大学大学院共生科学技術研究院 物理システム工学専攻 芦原 聡

電話/Fax 042-388-7536 E-mail: ashihara@cc.tuat.ac.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 *news*」および「光学関連会合予定」の掲載基準 (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/kogaku/news-keisai.html>) をご確認ください。

日本光学会平成20年度幹事(\*常任幹事)

幹事長：	谷田貝豊彦* (宇都宮大)	
副幹事長：	渡辺 正信* (産総研)	志村 努* (東京大)
前幹事長：	伊東 一良 (大阪大)	
庶務幹事：	芦原 聡* (東京農工大)	菅谷 綾子* (ニコン)
	竹内 誠二* (キャノン)	津村 徳道* (千葉大)
	厚海 広道* (リコー)	飯塚 隆之* (HOYA)
	宮澤 佳苗* (伊藤光学工業)	安田 晋* (富士ゼロックス)
	渡邊恵理子* (日本女子大)	
『光学』編集幹事：	梅田 倫弘* (東京農工大)	山口 雅浩 (東工大)
『Optical Review』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	佐々木修己* (新潟大)
国際協力幹事：	中川 清 (香川大)	津田 裕之 (慶應義塾大)
産学協力幹事：	石樽 崇明 (慶應義塾大)	藤川 久喜 (豊田中研)
将来問題担当幹事：	谷川ゆかり (産総研)	戸田 泰則 (北海道大)
電子化担当幹事：	森野 剛志 (東芝)	河野 裕之 (三菱電機)
事業・企画担当幹事：	岡田 訓明 (シャープ)	佐藤 俊一 (東北大)
	佐藤 雅之 (北九州市立大)	白石 武嗣 (コニカミノルタオプト)
	杉田 篤史 (静岡大)	忠永 修 (NTT)
	西畑 純弘 (富士フイルム)	二瓶 裕之 (北海道医療大)
	松尾 繁樹 (徳島大)	大出 寿 (オリンパス)
	大八木康之 (大日本印刷)	岡本 卓 (九州工大)
	小野 浩司 (長岡技大)	式井 慎一 (パナソニック)
	高橋 信明 (防衛大)	高原 淳一 (大阪大)
	高松 衛 (富山大)	陳 軍 (東京工芸大)